



第17号

～ サレジオ会宣教ニュース ～

2010年5月11日

キリストへの愛に燃える心のあかし人

サレジオ会宣教師の皆さん、サレジオ・ミッションの友人の皆さん！

マリアの月に心からのごあいさつを申し上げます！

2010年5月24日、全世界のサレジオ会司教は、ヴァルドッコの扶助者聖母大聖堂での特別な祝祭にあずかります。100名の司教の中には、この大聖堂で宣教の十字架を受けた宣教師も多くいます。

ヨセフ・ゼン枢機卿のあかしをここにご紹介できることをうれしく思います。1949年以來のサレジオ会員で、現在、香港の名譽司教であるゼン枢機卿は、50年前、トリノで勉強しました。キリストのために燃える心のあかしは、宣教のための最もよい活気づけになるでしょう。

宣教顧問

Valter Clement

ヴァツラフ・クレメンテ神父



私たちの秘訣は共に暮らし、共に働くこと！

ピサーナ（サレジオ会本部）に滞在していた香港の名譽司教ヨセフ・ゼン枢機卿に、カリエロ11の読者のために何か分かち合ってほしいとお願いしました。

トリノで神学を学ばれたのですね。学生だったころのクロチェッタの思い出は？

トリノのクロチェッタの神学院は多くの宣教師を輩出してきましたが、その秘訣は教授陣と学生たちの間にあった兄弟愛に満ちた関係でした。当時、支部は貧しかったのですが、美しい精神がみなぎっていました。子どものときから、貧しくとも幸せでいられることを私は学びました。私たちは貧しい一家でしたが、幸せでした。クロチェッタもそうでした。状況は貧しかったのですが、私たちは幸せでした。私たちは真剣に勉強し、たくさんのお祝いもしました。（以下に続く）



夏のあいだ、ヨーロッパの学生はそれぞれの管区に帰りましたが、そのほかの管区から来ている私たちはいろいろな活動にたずさわりました。山でのユース・キャンプ、オラトリオのアニメーター、もちろん支部での労働作業もありました。活動のあいだも、共にいることに秘訣があることを私たちは学びました。

私の人生は、マカオでの一年半とアバディーン（香港）での3年を除き、ほとんどいつもサレジオ会の神学院で過ごしています。神学院以外の二つの支部でも私はとても幸せでした。やはり秘訣は、会員たちと共にいることでした。司教としても、私の神学生たちと共に暮らすことが私たち皆に大きな影響を与えることを知りました。

中国におけるサレジオ会100周年の際、私たちが中国にもたらすことのできる贈りものは家庭的精神であると、私は指摘しました。共にいること、友情、若者と共に過ごす時間を惜しまないこと、皆の友達になることです。共にいること、それが私たちの秘訣です。

学校での福音宣教はどのようにすればいいと思われますか。

宣教師たちは活力のしるしです。かつては、未信者の人々を改宗させることが強調されすぎたかもしれません。昨今は逆に、第二バチカン公会議以後、学校で福音を告げることがあまり重視してこなかったかもしれません。私たちの多くの学校では、教職員の大多数もキリスト教徒ではないからです。しかし、幸いなことに、サレジオ会の学校では、サレジオ会共同体の目に見える存在があり、環境づくりに貢献しています。管区長だったころ、私たちの学校の生徒90人に洗礼を授けたことがあります。最近、カナダやアメリカで成人洗礼を望む多くの人〔中国人〕が、香港の私たちの同窓生であることがわかりました。司教シノドス後の使徒的勧告「アジアの教会」は、アジアでイエスの物語を語る、ということを行っています。しかし、イエスの物語を語るには、まず私たちの心がイエスへの愛にあふれなければなりません。（次頁に続く）

この話をするとき、私はチャールズ・ブラガ神父のことを思い出します。彼は同時に中国語の三つの方言を話すことができました。つまり、彼の中国語はとてもまづかったのです。でもブラガ神父には、イエス・キリストへの愛の満ちあふれた大きな心がありました。それが多くの人を引きつけたのです。

今日、香港の教会にとって挑戦となるもの、あるいはチャンスとなるものは何ですか。

香港の司教として、私は教区司祭をケニアに派遣しました。今彼は、宣教師としての何年もの体験を得て帰国し、教区に大きな熱意をもたらしてくれています。また私たちのところには、PIME 宣教会と協力する信徒宣教師もいます。カトリック信者の中で司牧活動を行うのは簡単です。一方、すべての人への宣教mission ad gentesにたずさわるには、多大な努力がいります。香港では、年平均で 2000 人の人が洗礼を受けます。ここ数年、教区は長い準備の必要な宣教祭を開催することにしています。イエスを知らせるために友人を祭りに招き、それがきっかけとなってその人たちが洗礼を受けたりしています。このことは、良心や宗教の自由を尊重しないのではなく、イエス・キリストを知らせるということです。香港は確かに世俗的な環境です。出生率は非常に低く、離婚は多く、平均年齢は上昇しつづけています。家庭はたしかに問題を抱えています。しかし、宗教への蔑視はありません。キリスト教への改宗に問題はありません。実際、そのことは、熱意をもって宣教する私たちにかかっているのです。もちろん、間接的な福音宣教、すなわち福音の価値を広めることについても私たちは語り合います。しかし、イエス・キリストを直接告げることが私たちは恐れていません。今、世界各地に移住した中国人労働者がいます。このことは、本当に私たちが取り組まねばならない挑戦です。彼らも、福音を伝えられる権利をもっているのです。しかし、彼らの世話をする司祭は少数です。このような場合、この中国人たちの福音宣教の主役になるのは、信徒宣教師でなければならないでしょう。



統計に見る中国のカトリック教会

Tripod, vol XXIX, 152 (2009) p. 57 参照

カトリック信徒数 政府統計 香港 聖霊ステーション調べ :	5,300,000 約 12,000,000	司祭数 公認 非公認	約 3,010 50 (高齢), 1,800 (若年) 60 (高齢), 1,000 (若年)
教会・聖堂の数	6,000 以上	修道女数 愛国教会内 地下教会内	4,750 3,500 1,250
教区および教会統治区 伝統的な数 公式の数	138 (内、活動中 116、休止 22) 97 (近年の行政側 との境界設定後)	神学校数 大神学校 小神学校 地下神学校	12 (神学生 610 人) 22 (神学生 550 人) 10 (神学生約 350 人)
司教数 公認 非公認	100 58 42	修道女修練院数 愛国教会 地下教会	約 60 40 (200 人) 20 (200 人)



Salesian Missionary Intention

アメリカ大陸のサレジオ会員のために

アメリカ大陸のサレジオ会員が教会基礎共同体を築き、育成することに取り組むように。

アメリカ大陸は、世界のカトリック人口の半数近くを擁し、そのカトリック共同体は、宣教への取り組みの共同責任においても成長することを望んでいます。教会基礎共同体は、それぞれの環境において日々、宣教精神を育む機会を提供します。ラテン・アメリカの司教たちは、すべての小教区における教会基礎共同体の養成と宣教のまなざしを常に促進してきました。アメリカ大陸のすべてのサレジオ会小教区・宣教拠点が、教会基礎共同体の成長・養成の歩みを共にすることができますように。



カリエロ 11 を毎月受け取りたい方は
segrgia@donboscojp.org へ